

## 児童の放課後対策に関する基本計画について

### 1. 計画の趣旨

平成 26 年 7 月に厚生労働省と文部科学省が共同して、「放課後子ども総合プラン」を策定したことを受け、①放課後児童クラブ及び放課後子供教室の連携による実施に関する具体的な方策、②放課後児童クラブ及び放課後子供教室の平成 31 年度に達成されるべき目標事業量、③小学校の余裕教室の放課後児童クラブ及び放課後子供教室への活用に関する具体的な方策等を内容に盛り込んだ市町村行動計画を策定することが示された。こうしたことを踏まえ、「枚方市児童の放課後対策に関する基本計画」を策定するものである。

### 2. 計画の位置付けと計画期間

#### (1) 計画の位置付け

この計画は、国が策定した「放課後子ども総合プラン」に基づく、本市の行動計画としての性格を持ち合わせた基本計画であるとともに、「枚方市子ども・子育て支援事業計画」の別計画として策定する。

#### (2) 計画期間

平成 31 年度までを計画期間とする「枚方市子ども・子育て支援事業計画」の次の計画期間が、平成 36 年度までであることから、期間を合わせて「枚方市児童の放課後対策に関する基本計画」は平成 36 年度までとする。

### 3. 計画の体系

#### 【基本理念】

～子どもの「放課後」を豊かに～ 放課後の再生

放課後は、子どもたちにとっての自発的、自主的な諸活動が行われる自由な時空間  
放課後の時空間とその機能をあらためて子どもたちのものとして再生していく

#### 【基本的な考え方】

##### (1) 子どもが自発的、自主的な諸活動を行うことができる環境の整備

- ①すべての児童の安全・安心な居場所の確保
- ②発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる環境の確保

##### (2) 子どもが自発性、自主性を発揮することができるような働きかけ

- ①多様な関わりを行う大人の存在の必要性（遊びの支援、トラブルの回避）
- ②子どもの権利を守り、具現化するための大人の連携

これまでの到達を活用した“子どもの権利”の具現化を

#### 4. 枚方市の現状と課題

##### (1) 子どもたちを取り巻く本市の取り組み（放課後における既存事業の実績と課題）

児童の放課後の過ごし方に関する調査結果（平成 28 年 10 月）

###### ①留守家庭児童会室の現状と課題

留守家庭児童会室の利用等に関するアンケート調査結果（平成 29 年 11 月）

###### ②放課後自習教室の現状と課題

###### ③放課後子ども教室モデル事業（平成 30 年度）の実施による課題抽出

#### 5. 目標事業量及び方策について

##### (1) 留守家庭児童会室事業の目標事業量

留守家庭児童会室事業の利用実績は年々増加し、平成 30 年度は 4,706 人と「枚方市子ども・子育て支援事業計画（平成 27 年度策定）」で示した目標事業量の 3,810 人を大きく上回る結果となっている。

本基本計画では、この利用実績の状況を踏まえるとともに、「留守家庭児童会室の利用等に関するアンケート調査（平成 29 年 10 月実施）」の調査結果を参考に目標事業量を設定する。

##### 《留守家庭児童会室の利用実績》

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実績(人)	3,579	3,906	4,431	4,706

##### 量の見込みの考え方

今後の目標事業量については、平成 30 年度までに実績をもとに、子ども・子育て支援事業計画に記載した平成 31 年度数値の上方修正を行うとともに、近年の好調な雇用情勢を背景に、現在の小学校児童数が減少傾向にある一方で、留守家庭児童会室在籍率が増加傾向にある状況は、当面の間継続するとの予測のもと、一定の目標事業量を見込む必要がある。

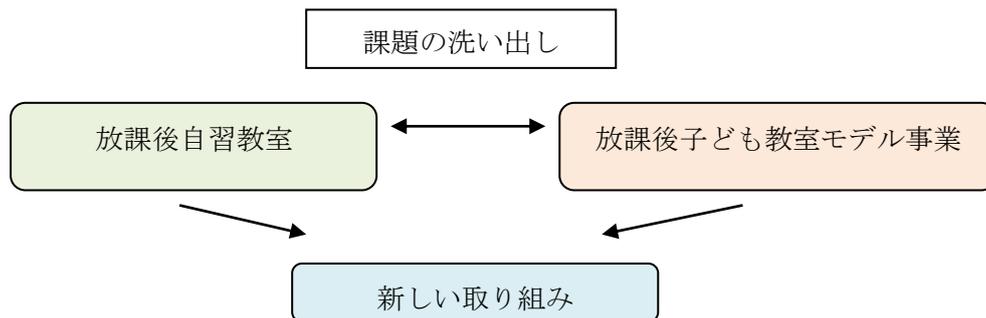
小学校児童数に対する留守家庭児童会室の在籍率について、これまでの傾向から、1～4年生は毎年1%増、5・6年生は横ばいとして試算すると、留守家庭児童会室児童数は平成 34 年度をピークに、減少することが見込まれ、平成 30 年 7 月 1 日現在の定員総数 5,459 人であることから、一定の量的確保が充足されている。

なお、今後宅地開発やマンション分譲などによる各小学校児童数の増加にともない、留守家庭児童会室児童が増加することも予想されるため、待機児童対策が必要と見込まれる。

## (2) 放課後自習教室について

放課後自習教室は、全 45 小学校及び全 19 中学校において、児童・生徒の自学自習力向上、学力向上を目的に実施されている。対象学年は学校によって異なるものの、年間 80 回程度実施されて、学校の協力のもと専用の活動場所を確保して学習ソフトを使って、「やる気ングリーダー」の支援で子ども達が自らの学習課題に取り組んでいるが、これまでの効果を検証したうえで、見直し・改善が必要な時期に来ている。

放課後子ども教室モデル事業の検証結果も踏まえ、ひとつの学校で実施するうえで、より効果的・効率的な取り組みとなるよう検討が必要である。



## (3) 既存の事業との関係性について

放課後子ども教室モデル事業の実施によって得られる検証結果には、既存の事業（放課後自習教室、留守家庭児童会室、枚方子どもいきいき広場）への影響、事業の実施状況と効果（児童・保護者の満足度）、学校との関係、安全・安心の確保、運営上の解決すべき課題を検証・分析する。

### 《既存事業と放課後子ども教室の関係性》

児童・保護者のニーズはどこにあるのか？

放課後子ども教室		
<ul style="list-style-type: none"> <li>留守家庭児童会室</li> <li>放課後自習教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>枚方子どもいきいき広場</li> <li>留守家庭児童会室（年8日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>留守家庭児童会室</li> <li>枚方子どもいきいき広場（三季休業中の土曜日）</li> </ul>
平日授業の放課後	土曜日	三季休業期

### 実施における課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>学校内での必要な施設の確保</li> <li>放課後自習教室への影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>枚方子どもいきいき広場事業との調整</li> <li>地域団体への施設開放事業との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暑さ・寒さへの対応</li> <li>地域団体への施設開放事業との調整</li> <li>登下校の安全確保</li> </ul>
--	---	---

これら、留守家庭児童会室、放課後自習教室及び枚方子どもいきいき広場は学校施設を活用し、それぞれの役割と目的を果しながら事業を実施している。放課後子ども教室を本市の小学校で実施していくためには、放課後子ども教室における、児童や保護者のニーズを的確に把握し、既存事業との調整をはかりながら課題の解決についての検討が必要となっている。

## 6. 計画の推進体制

児童の放課後対策審議会において進行管理を行う。

### 基本計画の名称について

「子どもの放課後を豊かに」を基本理念とする計画であることから、名称の変更を行う。

児童の放課後対策に関する基本計画



児童の放課後を豊かにする基本計画

# 児童の放課後対策に関する基本計画について

## 社会の背景

- 人口の減少、少子高齢化
- 家族形態の変化（核家族化、就労形態の多様化）
- 地域のつながりの希薄化

## 「3間」の減少

- 子どもの「放課後」の現状（問題点）
- ・家庭の事情による「仲間」の分断
- ・保護者等（大人）の干渉
- ・地域で安全に自由遊べる「空間」の減少

## 児童の放課後のありかたに関する基本的な考え方

- 子どもにとって望ましい「放課後」とは
  - ・すべての子どもを対象とする共通の「空間」（遊び場）を確保
  - ・大人から子どもへの積極的なかわり方も有効である
  - ・子どもが通学する小学校を安全な「空間」として活用
- 期待される効果
  - ・子どもの成長に必要な「3間」の確保
  - ・保護者に留守家庭児童会室以外の選択ができる

## これまでの取り組み

- 放課後の過ごし方に関する調査（平成28年11月）  
小学校2年生、4年生、保護者を対象

- 放課後や休日の過ごし方  
放課後の活動のニーズや意向確認

## 枚方市の現状と課題

- 留守家庭児童会室事業（入室希望児童の増加、施設と人員の確保）
- ・留守家庭児童会室の利用等に関するアンケート調査（平成29年10月）留守家庭児童会入室児童、保護者利用の実態を把握、放課後の活動に対するニーズの把握
- 放課後自習教室事業
- 枚方子どもいきいき広場事業

- 総合的な児童の放課後対策の推進
  - ・国の放課後子ども総合プラン
  - ・枚方市子ども・子育て支援事業計画

【審議会の意見】各事業の趣旨や目的、機能が果たせること

## 放課後子ども教室モデル事業（平成30年度）

- ・利用者（児童・保護者）ニーズの実態や事業の効果、実施に係る課題及び経費の見込等を分析・検証することによって、より効果的で効率的な事業スキームの構築を図る。
- ・市内4小学校で期間、事業内容を限定して実施
- ・学校との連携、既存の放課後等の事業との連携、地域の理解

【枚方市子ども・子育て支援事業計画】子どもの人権・子どもの最善の利益が尊重されるまちづくり

## 児童の放課後対策に関する基本計画

- ・放課後児童クラブ（留守家庭児童会室事業）の目標事業量
- ・放課後子供教室事業（放課後子ども教室、放課後自習教室事業）の目標事業量
- ・留守家庭児童会室事業と放課後子供教室事業の連携  
ほか

【審議会の意見】既存の放課後等事業との連携、児童の自主性や選択性の保持、安全・安心の確保、専門性をもった子どもの活動支援者の存在